

## 《第2回 ICDアワード受賞者》

## 第2回 ICDアワードを受賞しました



愛知学院大学歯学部

小川 春佳

私はこの度第2回ICDアワードを受賞し、今年の春卒業式で表彰して頂きました。このことは私にとって、とても光栄で身に余る思いです。

今回受賞したICDアワードは、私が大学1年生の長い夏休みの中で、なにか自分にできることはないかと考え、「モンゴル歯科診療と学術、調査およびがんセンター医療支援」に参加したことを愛知学院大学歯学部保存修復学講座の富士谷特殊診療科教授に推薦して頂き受賞しました。

モンゴルでの活動は、平成29年8月16日から20日までの5日間のうち2日間首都のウランバートルから約40キロも離れたところにあるナライハ区という場所の小さな病院で行いました。簡易な診察台などを設置し、子供達の口腔内診査、非侵襲的なう蝕の治療法（ART法）とブラッシング指導の流れで行いました。私は1日目に器具の準備や片付け、診療補助、2日目はブラッシング指導で参加させて頂きました。当時まだ1年生で右も左も分からなかった私ですが、国際歯科診療に参加し、診察に来る子供達には皆黒く大きなう蝕が何本もあり、日本の診療所にあるような歯科ユニットなどの設備はないため、スプーンエキスカベータなどの簡易的な器具で行うART法を初めて見て衝撃を受けたのを今でも覚えています。また、ブラッシング指導で子供達と触れ合った時は、私の指導に対し

頑張って歯を磨く練習をしてくれたことにとってもやりがいを感じました。

今回ICDアワードを受賞して、今後さらに国際貢献への気持ちを忘れず、歯科医師として勉強を続け、世界のどのような境遇の人の口腔内環境を健康にできるよう精進していきたいと思えます。

最後になりますが、今回この様な素晴らしい機会を与えていただいた愛知学院大学保存修復学講座富士谷特殊診療科教授をはじめ、「モンゴル歯科診療と学術、調査及びがんセンター医療支援」に参加された方々、関係者の方々に、心より感謝申し上げます。



卒業式の際受賞後撮影。左から、保存修復学講座富士谷特殊診療科教授、小川春佳、本田学部長